



【第7回】

札幌パーキンソンMS神経内科クリニック

医療法人北祐会

クリニック
HPチェック
委員会

総合評価

細かいディテールまで配慮した 患者にやさしい良デザイン

HPを取り巻くシステムやデザインなどのトレンドは日々変化しており、患者にとって良いHPにするうえでは、定期的なチェックは必要だ。HP制作に携わるプロたちの視点から、診療所のHPを徹底チェックしてもらう。



配色、写真の配置、デザイン、情報量、UIと、いずれもユーザーが見やすく使いやすい配慮が行き届いている。



同院の強みであるMS(多発性硬化症)とパーキンソン病に関する情報コンテンツだが、豊富な情報量だからこそ、PDFではなく、SEO対策にもなる個別ページにするとより活用できるだろう。



評価した人

毛塚牧人

株式会社メディアコンテンツファクトリー代表取締役社長。医療機関における患者視点に立った医療情報の発信などを専門に、医療コンテンツ・医療サービスの開発を行う

原田秀司

フリーランスで活躍中のWEBディレクター・UIデザイナー。『UIデザインの教科書』(翔泳社)など、UI・HPデザインに関する著書を多数発刊している



スマホ版では端末の向きによって担当医・診療時間の一覧表の幅や文字列も適切な形になるように自動調整される。デザインと読みやすさに配慮されているのが好印象だ。

※1:「グローバルナビゲーション」とは、WEBサイト内の各ページに共通して設置された主要コンテンツへのショートカット機能を指す。

※2:「マウスオーバー」「ホバー」とは、画面上の対象にマウスカーソルを乗せる操作、また、乗せる前後で対象に動きや形などが変化するような処理を指す。

一覧表が、端末の向きによって適切な形に調整されるように設定してある部分ですね。こうした細かいディテールまでこだわっているのは、制作サイドの目線だとしてもきちんとしていると感じます。

原田 細かな配慮で言えば、一見画像に見える部分もちゃんとテキストデータでフォントを変えるなどで対応しているのも良いですね。

毛塚 一点だけ惜しいのが、一覧表の下にある「MS(多発性硬化症)について」「パーキンソン病について」というコンテンツが、PDFである点ですね。ちゃんとつくり込まれた良い情報だからこそ、個別ページを設けたほうが、SEO対策にも寄与すると思います。